前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称) 住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 714-0062					也)			
名 ヒルタ工業株式会社								
本票作成 部署名:ISO/BCP推進室								
主たる業種	重っ分類コー	31 業種名:	輸送用機械器具製造	=====				
事業の概要	自動車	部品の製造	従業員 : 888	3名				
3	番号	工場等の名称			所 在 地			
	1)	笠岡工場		笠岡	笠岡市茂平1410			
県内の	2	吉備工場		総社	総社市久代2211-5			
主な	3	総社第1工場		総社	上市井尻野6	31		
工場等	4	総社第2工場		総社	上市真壁153	30		
	5	下倉事業所		総社	上市下倉540)		
特定事業者	当 [7]	D燃料等原油換算1,	500kl以上 🗌 ②バス・	トラック100台	台、タクシー250	台以上 🗌 🤅	③CO₂換算3, 0	00t以上
の該当要件	# (工場等の数	5 所	●車両	台数 (②該	核当の場合)		台)
温室効果ガス	ス 基準	隼年度(平成 26	年度) (平成	28)年	度排出量	目標年度(平成 31	年度)
排出量 17,366 t CO ₂ 13,756 t CO ₂ 16,49				16, 498 t	CO ₂			
	番岩	子 工場	場等の名称		(平成	28) 年度	排出量	
	① 笠岡工場				6, 257 t CO ₂			
 主な工場等	2	② 吉備工場			4, 569 t CO ₂			
土な工場寺	3	③ 総社第1工場			2, 186 t CO ₂			
	4	④ 総社第2工場			720 t CO ₂			
	⑤ 下倉事業所				24 t CO ₂			
							t	CO ₂
	計画		Z成 27 年度	~	平成 31	年度	(5 筐	年度)
削減目標の	の			減実績	目標削減		目標達成	
達成状況		☑ 原単位基準	△ 2.1	%	5. 0	% □ i	達成 [-	未達
温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原単位当たり排出量								
(原単位基準 の削減目標を					生年度	(28) 年		
選択している	る 純加工高実績				2. 482 2. 534 2. 358			
場合に記る)		t				CO2/百万円) t CO2/(百万円) t CO2/(百万円)		
場合に記入)				3 ,		/ (/ \	
(該当事業者								
(該当事業者	ク	己入) 対象事業の名称	ベンチマーク		関連数値			を成率等
(該当事業者	ク		ベンチマーク					
(該当事業者 ベンチマーク 指標の状況 【削減状況	ク : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	対象事業の名称 己評価】	ベンチマーク	指標	関連数値	直(平成 28	年度) 诸	達成率等

7 4	H- H:	1-1-1-1	ı,
l 1	生工田	体制	1

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備。 ・ISO14001に基づき、生産本部長をトップとした環境管理体制の下、温室効果ガス排出削減 を推進する。

【目標削減率達成のために実施	拖した措置及び今後の取組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
・笠岡工場	(H28年度実績分) ・少量生産設備の集約によるコンプレッサー無駄運転の停止 (61tC02/年) (H28)
・総社工場	・エアーコンプ゜レッサーをインハ゛ータ式に更新 1 台(88 t CO2/年)(H28/5)
·全工場 (笠岡工場) (総社工場) (吉備工場)	(今後実施予定分) ・受電トランスの集約と高効率化への変更 ・エアーコンプレッサーをインバータ式へ更新。 ・明り取り天井の更新(総社工場、吉備工場は中止) ・照明設備の更新(LED照明の導入検討) (全工場目標値:163tC02/年)

【森林保	全等吸	な収源対策への取組】
県内で の取組	無	
その他	無	
【再生可	能エネ	メルギーの導入】
県内で の取組	無	
その他	無	
【その他	特記事	項】